

1-1 人と自然が共生する豊かな環境づくりの推進

大タイトル	小タイトル	課題の素材			
		素材名	概要	どこから	
自然環境の保全と適正利用	知床発信	「知床」の魅力の全体化	知床自然センターへの町民の来館者が固定化している。 知床の新たな魅力を伝えていくことが必要。	町民委員ミーティング/グループワーク	
		「知床」のコンテンツを増やす	町外からの来訪客を案内できる名所が少ない。(自然センター、知床五湖ぐらいしかない)	町民委員ミーティング/グループワーク	
		「知床の日」の認知度	「知床の日」って何? 町民にも広く認知されていない。	町民委員ミーティング/グループワーク	
		伝える場所の定常化と周知	情報を発信する場所の機能化が必要	町民委員ミーティング/グループワーク	
	自然保護	100㎡運動の推進	100㎡運動や植樹祭参加者が固定化している。企業や町外者の関心は高いが、斜里町民の意識は、それほど高くないのではないかと。	6次総計評価	
		オーバーユース	観光客による知床五湖、カムイワッカの利用について	町民委員ミーティング/グループワーク	
		交通渋滞	繁忙期の観光客による知床五湖、カムイワッカの利用について	町民委員ミーティング/グループワーク	
		歩道の風化	歩道の老朽化に伴い、修復が必要	町民委員ミーティング/グループワーク	
		登山者のトイレ問題	登山者へのマナー啓発が必要	町民委員ミーティング/グループワーク	
		山林の利用	山林の利活用について	町民委員ミーティング/グループワーク	
	野生生物の保護管理	動物と人との距離感	野生動物による被害	ヒグマやエゾシカによる農業被害が発生している。	6次総計評価
			ヒグマ出没対応	ウトロ市街地におけるヒグマの出没件数が増えている。	6次総計評価 町民懇談会
			観光客に対するヒグマ対策	観光客によるヒグマへの接近行動が問題となっている。	6次総計評価
鳥インフルエンザ対策			年々、鳥インフル被害件数が増加傾向にある。	6次総計評価	
釣り人の食料管理			ヒグマの誘因物となりうる食材管理の徹底をはかる	町民委員ミーティング/グループワーク 町民懇談会	
住民のゴミ、干し魚管理			ヒグマの誘因物となりうる食材管理の徹底をはかる	町民委員ミーティング/グループワーク	
キツネのエキノコックス対策			特に観光客に向けての啓発が必要	町民委員ミーティング/グループワーク	
自己防衛対策			農地への電気柵の設置 (ヒグマ対策)	町民委員ミーティング/グループワーク	

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

1-2 持続的発展が可能な循環型社会づくりの推進

大タイトル	小タイトル	課題の素材			
		素材名	概要	どこから	
適切なごみ処理	ごみの処理	ごみ収集日程の変更	町民にアンケート調査を行い協議して頂きたい	町民委員ミーティング/グループワーク	
		ごみの減量化を進める	生ごみコンポストのキッチン用の普及を積極的に行い、減量化を図る。	町民委員ミーティング/グループワーク	
		分別の数、増やす?減らす?	分別の数を増やせば、リサイクルの割合は増えるが、高齢化社会が進む中、分別を減らす事でごみは出しやすくなる。	その他	
		ごみ袋料金の値上げ	以前とは違いごみの処理に多額の費用がかかるため、ごみ袋、粗大ごみ処理券の値上げも考えなければならない	町民委員ミーティング/グループワーク	
		みらいあーの今後	ごみ問題で成功している外市町村の概要・進め方を参考にする等	町民委員ミーティング/グループワーク	
		ごみステーションの管理	ごみステーションは自治会にて管理しているが、管理している人の固定化が多く、ルールを守らない人の対応が負担となっている。	その他	
	ごみに対する意識	ごみに対する意識	生ごみ袋が破ける	コストの問題があるが現状維持でも可	町民委員ミーティング/グループワーク 町民懇談会
			ごみ分別の徹底	混ぜればごみ 分ければ資源（何が何キロで〇円になる等の具体的な金額等を示す）	町民委員ミーティング/グループワーク
			ごみの出し方	ごみ袋に名前を書く等、もっと排出に厳しくうちの自治会の出し方はマナーが悪い（他から車で来て出していくマナーの悪い人をどうにかしたい）	町民委員ミーティング/グループワーク
			ごみの減量化	リサイクル講習会をイベント仕立てにして実施する。例えば、今までは不燃ごみで捨てていたものも実はリサイクルできるものだった、という気付きが生まれるような内容にする。	町民委員ミーティング/グループワーク
			コストを抑える	コストがかからない処理方式の検討	町民委員ミーティング/グループワーク
			ポイ捨て、不法投棄の防止	道路などにポイ捨てのごみが多くみられる。看板の設置。	その他、町民懇談会
			ゴミ処理の広域化	軌道にのせる	町民懇談会
	環境に対する意識	環境に対する意識	町民の意識改革	町民へごみ処理施設等の意識改革（植付け）	町民委員ミーティング/グループワーク
将来予想図			将来的に、コミュニティハウスのようなリサイクルステーションを市街地に設置する。 分別をゲーム感覚で楽しむ仕掛けなどを備えたものに作り上げ、休日に親子が遊びに来るような施設を作る。	町民委員ミーティング/グループワーク	
環境教育の重要性			子どもを含め、家庭で楽しみながらリサイクルやゼロカーボンについての気づきが得られる取り組みが必要。 学校・社会教育機関と連携したワークショップ等の開催。	個別計画	

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
		環境×〇〇	単純に環境を追い求めるのではなく、環境×健康（移動は徒歩・自転車）など行う事で、普段見過ごしている発見がある？	個別計画
ゼロカーボン実現に向けた取り組み	再エネの普及	再エネと自然のバランス	みどりと人間の調和の体現	町民懇談会、その他
		景観と再エネのバランス	事業用発電施設設置に対する、規制がなく無尽蔵に建設が可能	その他
		電力固定価格買取制度後の発電施設の姿	固定買取制度後、安価で電力が売買される事となるため発電施設の維持が今後の課題となる	その他
		太陽光パネルの処理方法	FIT制度終了後に事業廃止となり、破棄される太陽光パネルが大量に発生することが懸念される。	町民委員ミーティング/グループワーク
		電力の地域循環が必要	ただ売買するのではなく、災害時など発電、使用のグループ化が必要？	その他
	温暖化に対する意識づけ	脱炭素へむけライフスタイルの変容	今まで当たり前便利なもの（事）をしていたが、今後は価値を含めた変容が必要になる？	その他
		スマート農業の推進	自動トラクター等を導入することで、作業効率を上げ、燃料の使用量が減少する。	町民委員ミーティング/グループワーク
		各産業との連携	脱炭素を目指すためには、各産業間の連携が不可欠である。	町民委員ミーティング/グループワーク
		CO2削減等	何をしたら〇円削減、〇g減る等の見える化	個別計画
	財政的支援の確立	財政	どのような補助金なら、町民が喜んで使ってもらえるか。	現在、家庭用太陽光パネルの補助金はあるが、交付実績が無い年がある。
建物の断熱性能向上がカギ			寒冷地では、熱（暖房）に対するエネルギー使用量が一定の割合を占める。電気だけではなく化石燃料にも着目	個別計画
財政的課題			財政的に、維持管理費がかかりすぎている・・・	町民委員ミーティング/グループワーク

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

2-1 力強い産業基盤の構築

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
一次産業をとりまく環境 の変化	ICT技術のさらなる活用	ICT技術のさらなる活用	現状、自動操舵トラクターや可変施肥は取組まれているが、ICT技術のさらなる活用に向けた展望がない。次のステップへ意向したいが足踏みの状態となっている。	個別計画
		漁獲増減で効率の悪い操業となることがある	定置網漁業などで、漁獲物に見合わない出漁をしているケースがある。	その他
	基盤施設の老朽化	基幹水利施設の老朽化	この間、国営事業などで造成された農業水利施設や鳥獣被害防止柵等は、経年劣化による機能低下が進んでおり、計画的な更新と共同活動による適切な保全が求められている。	個別計画
		鳥獣被害防止施設等の老朽化	この間、国営事業などで造成された農業水利施設や鳥獣被害防止柵等は、経年劣化による機能低下が進んでおり、計画的な更新と共同活動による適切な保全が求められている。	個別計画
		漁港施設の老朽化	各漁港で老朽化した施設が多くなり、生産性や安全性に課題が生じている。	6次総計評価
	森林の多面的機能の維持	町有林森林施業サイクルの偏り	伐採、間伐、下刈、植栽の毎年の施業量にばらつきがある。	6次総計評価
		森林の多面的機能の維持	森林の持つ多面的機能の維持と木材生産のバランスが保てるよう注意していく必要がある。	6次総計評価
		保安林の機能劣化	防風保安林等で倒木の発生が多くなっており、将来的な機能低下が懸念される。	6次総計評価
		民有林施業サイクルの確立	小規模な林家については、適切な施業サイクルを実施できていない場合がある。	その他
	水産資源の不安定化	サケ・マス以外の資源の不安定化	サケ・マスに偏重している構造は好ましくないが、それ以外の資源も不安定化している。	6次総計評価
		サケ・マス以外の資源の増養殖知見と環境の不足	増養殖をに取り組みたい漁業者も増えているが、そのための知見や環境が不足している。	6次総計評価
		サケ・マス資源の不安定化	人工孵化放流や自然産卵に力を入れているが、大黒柱であるサケ・マス資源が不安定化している。	6次総計評価
		サケ・マス遡上環境の分断	サケ・マスが自然産卵する河川において遡上が難しい構造物が存在する。	6次総計評価
	農地環境の変化	自然災害リスクの高い農地条件	斜里町の農地は、河川に挟まれた農地や海に面した平地で平坦な地形が多い。	個別計画
		連作等による収量低下	畑作三品（馬鈴薯・小麦・甜菜）に豆類、野菜、緑肥作物等を組入れた4年輪作体系を推進しているが、圃場条件によって連作せざるを得ない状況が生まれ、生産力の低下と土壌病害虫の発生が懸念されている。	個別計画
		堆肥不足による収量低下	斜里町は酪農家が少ないため、畑作にとっては慢性的な堆肥不足が課題。	個別計画

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
		輪作体系の見直し	令和8年度に向けたてん菜の減産方針や肥料・資材・燃油等の高騰などにより、てん菜を作付けしない農家が増えることが予想され、今後の輪作体系の見直しが求められる。	その他
商工観光業をとりまく環境の変化	旅行形態の変化	旅行者の交通、アクセスの不足		その他
		旅行形態、客層の変化		その他
	基盤施設の老朽化	観光施設の老朽化		その他
	レジャーをめぐる環境の変化	サケ・マス釣りによる海浜域の無秩序な利用	サケ・マス釣りの人に浜の占拠や迷惑駐車等で無秩序な利用をしている人がいる。	6次総計評価
		キャンプ場やショップの不足		全体会議
		オロンコのトイレ		町民懇談会
		悪天候時の観光客の行き場		町民懇談会
		体験アクティビティのプログラムとルール作り		その他
	商工業をめぐる環境の変化	次世代型ツーリズムへの対応		その他
		ネット通販、ECサイトの脅威		その他
			大手企業との競争の激化	

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

2-2 知床しゃりの展開				
大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
ブランド力の維持、向上	インナーブランディングの不足	郷土愛の育成		その他
		地域の活力の減退		その他
	活用されていない自然資源が多い	鹿の皮が利用されていない		全体会議
		木工製品ブランドの不足		全体会議
		水のブランド化の不足		全体会議
		斜里岳の活用	ビューポイントの整備、斜里岳グッズ	町民懇談会
		カムイワッカの利用	利用期間の長期化	町民懇談会
		釣り場のブランド化が出来ていない		全体会議
	品質と鮮度保持体制の向上	斜里漁港荷捌の長時間化	斜里漁港で荷捌きを行う漁船の待機時間が長く、単価にも影響しかねない。	6次総計評価
	一次産業のブランド化の不足	斜里農業のブランド化	知床を訪れる観光客の斜里町農業への認知度は極めて低い。	6次総計評価
		産直・農家レストランが少ない	町内には直売所や地場産品を食べられる飲食店も少なく、地元農産物が観光客のみならず町民も手の届きづらいものとなっている。	6次総計評価
		水産物のブランド力の不足	サケのブランド化を進めているが、さらに訴求力を高めていきたい。	6次総計評価
		地産地消	地元のものを地元の人に変えない、食べられない、野菜の直売所など	町民懇談会
	ブランドを生かし、維持する体制の不足	みどり工房しゃりの今後の在り方について	指定管理施設と多目的広場等の今後のあり方について、方向性を定め取組を展開しなければならない。	町民委員ミーティング/グループワーク
		産物の製品化の不足		全体会議
		産物に対するPRが少ない		全体会議

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

2-3 担い手の育成と確保				
大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
担い手の不足	後継者の不足	担い手の不足	漁業、林業で担い手の不足を感じ始めている。	6次総計評価
		農業の後継者不足	小規模で営農できる仕組み。産直、農家レストランなど、新規参入しやすい仕組み。	6次総計評価
	労働力の不足	雇用労働力の慢性的な不足	人口減少やパート労働者の高齢化、他産業との労働力需要の競合が繁忙期における人材確保を難しくしている。	個別計画 町民懇談会
		施設の管理・運営人材の不足		
		農村集落人口の減少と活力低下	農村地域では市街地以上に人口の減少と高齢が進んでおり、集落機能の低下が懸念されている。	個別計画
	人材の流出	離農者の加速	自身の高齢化や後継者がいない、また、現在の肥料・資材・燃油等の高騰などにより、離農する農家が増えている。	その他
	特殊な就労環境	ウトロ漁港船揚場の狭隘化	ウトロ漁港の船揚場が狭いうえに、時化の際には波があがる	6次総計評価
		特殊な就労環境	漁業では潜水、林業では伐木など、危険を伴う作業環境が多い。シーズンのオンオフがある。	6次総計評価 町民懇談会
	人材育成の仕組みの不足	大人の学び場が少ない		全体会議
		経営者の意識改革がされていない		全体会議
		マーケティング力の習得		
	労働力不足を解消する仕組みの不足	企業化しやすい環境が無い		全体会議
		町外からの移住環境が不足している		全体会議 町民懇談会
		農業経営の法人化	戸あたりの面積拡大がさらに進み、経営可能な規模の限界を迎えれば、耕作放棄地の発生や生産量の減少、品質低下に伴う営農意欲の減退、そして担い手農家のさらなる減少といった負のスパイラルを招き、ひいては地域農業の衰退につながりかねない。	個別計画
		農福連携の円滑な実施	障がい者と人材を必要としている現場・作業内容のマッチングをはじめ、現場での支援員の存在が不可欠である。	個別計画

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

3-1 快適に暮らせる住環境の整備

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
魅力ある公園	多世代で利用できる公園の整備	水のある公園	噴水で和む公園を望む。	町民委員ミーティング/グループワーク
		散歩コース、休憩場所の充実（ウトロ）	ウトロにも斜里のような散歩コースと休憩場所の整備をしてもらいたい。	町民アンケート意見
		スポーツが出来る公園・パーク（バスケ・スケボー等）の検討	住み続けたいまちにするためには、若者が魅力を感じるような生活環境の整備が必要では。	高校生WS意見
		多くの人が集える（遊べる）施設（大型複合施設）の検討、遊具の整備	住み続けたいまちにするためには、若者が魅力を感じるような生活環境の整備が必要では。	高校生WS意見 町民懇談会
墓地・火葬場の適切な維持管理の推進	墓地・火葬場の管理	霊園の維持管理	使用権者の高齢化等に伴い適切に管理されていない区画が増えている。また、改葬や合葬墓使用により、空き区画が増えていることから、霊園の草刈り等の維持管理が必要	6次総計評価
		斎場の長寿命化	斎場の火葬炉の更新等計画的なメンテナンスで長寿命化が必要。斎場の建物の老朽化に対し適切な補修、修繕を行い長寿命化を図る。	6次総計評価
住宅対策	住みよい住まいの充実	アパートの数の不足	転勤等の異動に伴う住宅の不足がある。	町民委員ミーティング/グループワーク 町民懇談会
		サービス付き高齢者住宅の制度の普及促進	高齢者住まい法に基づき、バリアフリー構造、安否確認や健康相談などサービス提供を受けられる住まいであり利用者、事業者へ普及が求められている。	6次総計評価
		モデルとなる寒冷地向け住宅の建設、普及促進	高断熱、高気密のほか、省エネへの高い性能が求められてきており、北海道で取り組んでいる北方型住宅制度の普及促進が求められる。	6次総計評価
		快適住まいのリフォーム事業の制度の浸透が必要	制度を知らない方もいるので、住まいの長寿命化、居住性向上、バリアフリー化、省エネ化の居住環境の整備が可能であるので、今後も制度の浸透を図ることが必要。	6次総計評価
		住宅の耐震化率の向上	住宅の耐震化率向上のため、昭和56年5月31日以前の旧耐震設計住宅の耐震化率を上げる取り組みが必要。	個別計画
		移住対策	斜里町は人が温かいといわれている。移住者を受け入れる土壌はあると思う。受け入れのための住居の確保が必要。	町民委員ミーティング/グループワーク
		効率的でコンパクトなまち	斜里町の中心市街地はどこか？国道沿道のスーパーや飲食店舗等が立ち並ぶ地域と駅前周辺の中心市街地を結ぶEバイクが通れる歩道の整備が必要と考える。	町民委員ミーティング/グループワーク
		空き家の適正管理	空き家が原因で思わぬ損害賠償を求められたりするため所有者又は将来所有者となる可能性のある方へ空き家の適正管理について理解を深めてもらう必要がある。	個別計画
		空き家の活用	移住の方の受け入れとして住居の確保が必要と考える。空き家を活用し移住者の住居にできないか。店舗ヘリノベーションし活用ができないか。	町民委員ミーティング/グループワーク

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
空き家対策	空き家活用	空き店舗の利活用	営業をやめている店舗が増えてきていると感じる。移住で店を出すなどの支援ができれば、賑わいも出る。	町民委員ミーティング／グループワーク
		公営住宅の内部改修のための空き住戸の確保	建物の外部改修は居住しながらの施工が可能であるが、内部改修のためには、一定数の空き住戸を確保しながら進める必要があり、計画的な実施にはハードルが高い	6次総計評価
		空き家等対策計画に基づく協議会の開催と対策事業の具体化	令和4年度より協議会を設置し開催。令和5年度から対策事業として国の補助金を活用した空き家の解体費補助、アスベスト事前調査費補助を実施予定。	6次総計評価
		飲食店の活性化	飲食店の数が減ってきており、ランチ難民という言葉が出てきている。数を確保し活性化が必要。	町民委員ミーティング／グループワーク
		移動公民館の設置	空き店舗を活用し移動公民館として利用する。	町民委員ミーティング／グループワーク
	空き家解体	使用していない建物の取り壊しと跡地利用	建物老朽化、後継者がいない、相続手続きの途中である等、多様な事情が内在している場合があり、行政として積極的なかわりがしにくいと思われる。	高校生WS意見
		空き家の解体費補助制度の浸透	令和5年度より実施予定としている空き家解体費の補助制度の浸透を図る必要がある。	個別計画
		空き家の適正管理・解体	命の危険が生じる可能性のある不適切管理空き家からの飛散物の固定	町民委員ミーティング／グループワーク

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

3-2 快適に暮らせる社会基盤の整備

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
国道、道道との連携	国道、道道の管理強化	国道・道道の整備促進	糠真布橋(国道334号)や川上橋(道道富士川上線)の架替え工事が完了するなど、国道、道道の整備は進捗している。 しかし、国道334号(朱円-峰浜間)や道道知床公園線(カムイワッカ地区)などの未整備、未対策区間が残っているため、今後も整備促進に向けた地元調整や要望活動を行っていく必要がある。	その他
		国道・道道の劣化損傷など	国道334号(市街地-中斜里間)や道道斜里(停)美咲線などについて、舗装路面の劣化損傷や縁石端の雑草の繁茂などが著しいため、きめ細やかな維持管理を要望する必要がある。	その他
		国道・道道の交通安全対策(風食対策)	春先、強い南風で畑の土砂が舞い上がることで発生する「風食」に因る視程障害などについて、交通安全上の問題となっているので、対策を検討して欲しい。	全体会議
		国道の草刈り		町民懇談会
	国道、道道との協働	大栄3号道路の道道昇格	高規格道路が網走まで延伸されることから、町民の利便性及び産業振興のため、網走市、小清水町と連携を図り、3市町(網走市呼人-斜里町大栄)を縦貫する道道の実現を要望する必要がある。	その他
適正な町道管理	町道の新設、改築	町道整備の推進	都市計画区域(用途地域)内の未舗装道路の舗装整備の外、凍雪害を受けている簡易舗装道路の二次改築などについて、個別計画に基づき計画的に実施しているが、人件費や資機材費の高騰もあり、計画との乖離が生じている。	個別計画
		歩道バリアフリー整備の推進	歩道舗装の劣化損傷の大きな要因として、街路樹の根上りによる不陸があるため、街路樹の計画的な伐採、更新が必要となっている。	個別計画
		サイクリングロードの整備	車道の路肩部に自転車レーン(路面標示)を設けて、観光客などが町内を周回できるようにして欲しい。	全体会議
	適正な町道管理	幹線道路の舗装修繕	街路や郊外の幹線道路(1級、2級町道)について、計画的に舗装修繕を行っているが、人件費や資機材費の高騰もあり、計画との乖離が生じている。	個別計画
		道路維持の推進	日常点検に基づく計画的な維持補修(予防保全)を目標に掲げているが、実際は対処的な維持補修に留まっているため、パトロールの強化が必要となっている。	個別計画
		排水施設の機能回復	雨水樹や縦断側溝が土砂の埋塞や破損により、機能低下を起こしているため、計画的な修繕が必要となっている。	個別計画

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
	町道の維持、修繕	橋梁の長寿命化	老朽化対策のため、点検に基づく橋梁補修を計画的に進めているが、人件費や資機材費の高騰もあり、計画との乖離が生じている。	個別計画
		オロンコ隧道の長寿命化	オロンコ隧道について、坑口の落石対策を含めた計画的な修繕が必要となっている。	個別計画
		道路付属物の更新	標識や照明の外、安全施設（ガードケーブルなど）の劣化損傷が顕著になっているため、計画的な更新が必要となっている。	その他
		跨線人道橋の修繕	跨線人道橋の劣化損傷が著しいため、計画的な修繕が必要となっている。	その他
	町民との協働	道路名称の分かるマップの作成	町民が道路損傷箇所などを通報する際、道路名称が分かれば、町も効率的な管理が可能となるため、道路名称が分かるマップを作成して欲しい。	全体会議
持続可能な雪対策	気候変動に対応した雪対策	除排雪態勢の見直し	雪の降り方や雪質（水分量）などの降雪状況が一昔前から変わってきているため、今後、降雪状況に応じた態勢の見直しが必要となっている。	町民アンケート意見
		除雪機械、オペレータの確保	降雪状況に対応した除雪機械の配置、オペレータの雇用形態の検討が急務となっている。	町民アンケート意見
		道路管理者間の連携強化	一昔前に比べて連携強化が図られているが、暴風雪時のスタック車両対応などについて、更なる連携強化が必要である。	町民アンケート意見
	施設の長寿命化	除雪センターの老朽化	昭和40年代に建築しているため、今後、大規模な修繕が必要となっている。	町民アンケート意見
	町民との協同作業	除排雪の協同作業の検討	排雪作業について、自治会との協同作業の検討を行う必要がある。 （除雪機械、誘導員：町負担、排雪車両：自治会負担など）	町民アンケート意見
町民目線の社会資本整備	国、北海道との連携	海岸保全対策の促進	冬期風浪などで浜崖が進行（後退）した際、その都度、海岸管理者である北海道と現地確認し、対策を要望しているが、事業化の目処なし。	その他
		親水護岸などの整備	斜里町は豊かな海岸線を有しているが、斜里ーウト口間は護岸施設などにより、気軽に海辺を散歩できないことから、海辺に降りることの出来る親水護岸の整備や、歩道端の転落防止柵の工夫を検討して欲しい。	全体会議
		斜里川水系河川整備計画の促進	斜里川水系河川整備計画は順調に進捗しているが、今後、羅崩橋の架替え、支川（ペケレイ川、水無川など）処理など、今まで棚上げしていた課題が控えているため、今まで以上の地域との調整が必要となっている。	その他
		堤内地の浸水対策	斜里川水系河川整備計画の進捗に伴い、今後、堤内地の浸水対策（ポンプによる強制排水）の検討が急務となっている。	その他

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
	普通河川の管理	普通河川の整備及び保全の推進	河畔林の倒木の外、海からの漂着物（流木、ゴミなど）の堆積などが見受けられるため、定期的な清掃が必要となっている。	その他

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

4-1 命とくらしを守る防災体制の整備				
大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
防災対策の充実と意識の向上	防災訓練	自治会単位等での訓練の実施		全体会議
		災害想定した訓練の実施		全体会議
	防災教育	いつきてもおかしくない災害、防災意識の向上	ウトロ地域での活動や意識等を斜里地域に浸透させ即応できるようにしていきたい。	町民委員ミーティング/グループワーク
		防災関連担い手の育成	自主防災組織の担い手の確保が組織率向上に必要なではないか	6次総計評価
		防災教育の充実	紙ベースだけではなく、学校教育などから家族内での共通認識を形成する素材（動画等）提供が必要	町民委員ミーティング/グループワーク
	防災備蓄	防災倉庫を集中させ町職員に周知		全体会議
		不足にならないように定期計画更新		全体会議
	防災情報	発災時の情報収集（公開）手段	安否確認や災害状況、避難場所の状況などの情報を入力する方法が必要	町民委員ミーティング/グループワーク
		発災時の情報収集（公開）手段	安否確認や災害状況、避難場所の状況などの情報を入力する方法が必要	町民アンケート意見
	AEDの充実	AEDの普及	AEDの普及	AEDの普及助成金
緊急体制の強化	避難経路	書き込める防災マップの作成、配付	自分で、避難場所や避難方法、連絡先などを書き込める防災マップの作成、配布	町民委員ミーティング/グループワーク
		路線名の入った地図の配付	災害時の避難経路や冠水時の場所特定などのため、町民はわからないので路線名の入った地図の配付	町民委員ミーティング/グループワーク
	避難施設	新たな一時避難場所等の検討	より避難しやすい避難場所が必要ではないか。高台等の一時避難場所の記載が町民アンケートにもあり	町民委員ミーティング/グループワーク
		仮設住宅の候補地	仮設住宅の建設候補地を策定して、防災備蓄庫や駐車場廃棄物の一時保管場所などを整備する	町民委員ミーティング/グループワーク
		避難所施設の充実		全体会議
		冬期間の避難所等の整備		全体会議

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

4-2 水を守る安定した上下水道の整備

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
健全経営	上下水道の更新費用	上下水道管他施設の老朽化と費用	計画的に更新していくためには、人口減等により利用者が減少し収入が減っていく中、料金改定を続けていかなければならない。	町民委員ミーティング／グループワーク
		施設の今後維持管理方法や運営費用と在り方	町民や利用者へ現状の説明や情報提供	町民委員ミーティング／グループワーク
		未収料金回収		全体会議
施設の充実	格差の解消	市街地以外の水道利用組合制度の解消		全体会議
災害に強い施設整備	災害時対応	地震に強い施設の整備		全体会議
		災害時の利用組合間の連携		全体会議

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

4-3 命を守る消防救急体制の充実

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
消防力の強化	消防力の強化	消防力の強化	消防活動等資機材更新、消防職団員の充実	町民委員ミーティング/グループワーク
		山岳事故に対する行政力の強化		全体会議
		消防団員数		全体会議
		第二救急センター		全体会議
防災意識救命知識の向上	防火意識の向上	火災報知器の普及		全体会議

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

4-4 くらしの安全安心の推進

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
くらしの安全安心	生活の安心	独居老人等の蜂駆除	蜂の駆除件数は必要性の低いでは事業項目ではないか	6次総計評価
		高齢者の交通手段		全体会議
		道路改修		全体会議 町民懇談会
		道路や排水路の草刈り清掃		全体会議
	地域の安全安心	自治会機能の充実	役員なりて不足	全体会議
犯罪対策	犯罪対策	SNSやスマートフォンを使用した犯罪	無防備な若者や高齢者を狙った詐欺や強盗が増えて いる。	町民委員ミーティング/グループワーク

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

5-1 いつも元気に安心して暮らせるまちの実現

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
頼れる医療、頼れる健康	みんなの病院	民間医療機関の開院支援や奨学金制度の有効活用など他地域の好事例も研究しながら検討	働き方改革が進む中、医療従事者にとっても働きやすい職場環境づくりが必須だが、一層のマンパワーの確保を必要とする。民間医療機関の開院支援や奨学金制度の有効活用など他地域の好事例も研究しながら検討が求められる。	町民委員ミーティング/グループワーク
		地域医療体制の安定化と医療施設～老朽化した施設や設備の更新の方針を	町立病院での経営安定に向けたプランを継続する。老朽化した施設や設備の更新の方針を立てる。	町民委員ミーティング/グループワーク
		地域で必要とする医療機能の維持～少子化対策では小児科の存在も重要	利用の多くは高齢者であるが少子化対策では小児科の存在も重要。広域的な医療体制も踏まえ必要な機能の維持が必要。	その他
		まちの医療体制の見直し	人口動態、町のあり方を見据え、求められる「まち」の医療体制を見直す必要がある。	町民委員ミーティング/グループワーク
		病院の必要性～産業等への影響等を伝える事を継続	病院機能や病院がなくなることによる産業等への影響等を伝える事を継続	個別計画
		医師の確保(医師が来てもらえる魅力のある地域づくり)	病院を継続するため医師が来てもらえる魅力のある地域づくり	個別計画
		医療の確保(国保病院以外の病院開業の支援)	国保病院以外の病院開業の支援	個別計画
		医師や看護師等のイメージUP ※対応に不満、評判が下がる	※対応に不満(イメージだけ?)があり他病院で受診することも。現役世代は自身の対応ではなく仕事関係や親等の入院受診の対応をみています。対応が悪いと評判が下がるのは当然です。伝えるのは現役世代です。人気のある医師が増えると好循環がおきると思うのですが。	町民委員ミーティング/グループワーク
		地域医療、訪問診療…福祉施設の統廃合メリット		町民委員ミーティング/グループワーク
		イメージに賛同した医師、医療従事者の確保		町民委員ミーティング/グループワーク
		受診する町民やさしい病院 ※小さな町だからこそその優しさ		町民委員ミーティング/グループワーク
		国保病院での健康診断 ※病院サイドで検診受入時期と受け入れ可能人数の調整	経営面で大変なご努力をされていることに胸が痛んだ。 町民が出来ることといえば、国保病院での健康診断。 国保病院サイドで検診受入時期と受け入れ可能人数の調整をしていただければ、周知することで利用度は上がるのではないかと感じた。協力したい。	町民委員ミーティング/グループワーク
		医療機関 ※専門医がない	専門医がない	町民委員ミーティング/グループワーク
		医療関係者の増加～診療所やクリニックの誘致	公立病院に頼り切るだけでなく、診療所やクリニックの誘致により、医療関係者を増やし、町民のヘルスリテラシーを高めていくことが必要	その他

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
		健康診断（病院の受入体制と町内の役場、福祉事業所、民間企業などとの提携）		町民委員ミーティング／グループワーク
		斜里町独自の病院経営 ※「福祉（に特化した）病院」等を掲げるイメージ戦略		町民委員ミーティング／グループワーク
		国保病院ボランティア	現状に即さないで、力を入れるところではないのでは？	6次総計評価
		色々な病気の勉強会実施（予防）		全体会議
		医者限定知床観光ツアー（縁づくり）		全体会議
		オンライン診療の導入		全体会議
	みんなの健康	幅広い年齢層での健康づくり～地域全体の健康寿命を延ばす取組	保健福祉分野での疾病予防は大事。地域全体の健康寿命を延ばす取組の継続が求められる。	個別計画
		健康管理や認知症予防施策をこれまで以上に積極的に	町のコストダウンを考えた上で、施設入所や病院通院はセーフティネットであるが、健康管理や認知症予防施策をこれまで以上に積極的に進めることで、町民が楽しめるまちづくりに資金投入できることに繋がる。	個別計画
		現役世代の受診率UP（かかりつけ医として）		町民委員ミーティング／グループワーク
		保健師の取り組み 丁寧に時間をかける個別対応に頭が下がる	たくさんの取り組み、丁寧に時間をかけて取り組む 個別対応など、保健師さんの活動に頭が下がる。 全世代になくってはならない存在と感じた。	個別計画
		広報に健康アドバイスを書いてもらう		全体会議
		保健師さんフェス開催		全体会議

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

5-2 気持ちの通う高齢者福祉の充実

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
頼れる施設、頼れる居場所	みんなの居場所	病院の社会的入院、施設入所、認知症高齢者のバランス是正	国保病院の社会的入院、施設入所、認知症高齢者のバランス是正が必要。	その他
		必要なときにすぐに利用できる福祉環境		町民委員ミーティング/グループワーク
		高齢者・障がい者・若者が働く環境		町民委員ミーティング/グループワーク
		多世代が利用したくなる多目的な場所（老人福祉センター等の改修）	子どもや生徒・社会人・高齢者等の多世代が利用したくなる多目的な場所（老人福祉センター等の改修）	個別計画
		移住促進		全体会議
		お年寄りのニーズに合った対策		全体会議
	みんなの施設	老人福祉センターの老朽化 ※改修・改築	建設から40年以上が経過、利用者・利用方法の変化があり、改修・改築が必要となっている。	町民委員ミーティング/グループワーク
		特養入居者受入回復 短期入所、措置入所体制回復（人員の確保、離職の回避）		個別計画
		抜本的な経営体制の見直し ※経営体制の改善、専門的な企業の誘致、企業の統合やグループ化等		個別計画
		特養の2ユニット閉鎖		町民委員ミーティング/グループワーク
		介護医療院	特養が介護サービスの頂点、介護医療院	町民委員ミーティング/グループワーク
		町の財政に頼らない経営体制		個別計画
		町民による寄付を募る		全体会議

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

5-3 一緒に支え合う地域福祉の充実

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
		福祉をわかりやすく、明るく、ポジティブなイメージへと転換するようデザイン化	福祉をわかりやすく、明るく、ポジティブなイメージへと転換するようデザイン化を図る。福祉分野での人材確保にも効果が期待できるのではない。	個別計画
		ボランティアの拡大。高校生等若者の参加への工夫、有償ボランティアの考え方の普及、ボランティアが楽しいという形	ボランティアの拡大。高校生等若者の参加への工夫、有償ボランティアの考え方の普及、ボランティアが楽しいという形が望ましい。地域とのつながり作りは将来的なUターン人口の増にも期待できる。	個別計画
		ご近所付き合いの中から、地域や個人の困り事が集まるネットワーク	ご近所付き合いの中から、地域や個人の困り事が集まるネットワークの仕組み	個別計画
		支援される人、支援する人の垣根がなく、町民が自主的に楽しく参加できる仕組み	支援される人、支援する人の垣根がなく、町民が自主的に楽しく参加できる仕組み	個別計画
		SNS等で興味を持ってもらう情報発信で、多くの町民に興味・関心を持ってもらう	SNS等で興味を持ってもらえるの情報発信をすることにより、より多くの町民に興味・関心を持ってもらう。	個別計画
		障がい者等の生活ニーズ等を把握し、支援する仕組み（権利擁護等）	障がい者等の生活ニーズ等を把握し、支援する仕組み（権利擁護等）	個別計画
		小・中・高校生との協働	児童・生徒等が保健・福祉活動と一緒にできる仕組み	個別計画
		障害者の居住施設や就労の場所の不足※あおばの家に自立できる軽度の障害者も入居可能にするなど、柔軟な対応を	すぐには解決できない問題だが、あおばの家に自立できる軽度の障害者も入居可能にするなど、柔軟な対応をお願いしたい。	町民委員ミーティング／グループワーク
		地域の困りごとを行政だけに頼らず、地域住民参加型で解決していくまちづくり	わかりやすいデザイン 暗いイメージを払拭する明るいデザイン 困っている人の把握と解決できる人のマッチングができるしくみ、人材、その為の費用が必要	町民委員ミーティング／グループワーク
		「中高生がどんなボランティアがしたいか？できるか？の参加型や有償ボランティア」も考えては	従来の高齢者へのボランティアという枠を破り、「中高生がどんなボランティアがしたいか？できるか？の参加型や有償ボランティア」も考えてはどうか？	町民委員ミーティング／グループワーク
		ぼると内見学 障害者へ栄養バランスの取れた調理実習ができないか	調理室を初めて見た。 障害者の就労支援をしているが、調理や栄養知識の乏しい人も多い。栄養バランスの取れた調理実習ができないかと頭に浮かんだ。	町民委員ミーティング／グループワーク
		健康づくり ※運動・散歩の場が少ない。特に冬季間の散歩が出来ない	運動・散歩の場が少ない。特に冬季間の散歩が出来ない	
	みんなで楽しく	公共・民間を問わず、町民同士の交流する場	交流する場が圧倒的に減っており、公共・民間を問わず、町民同士の交流する場が必要。	個別計画
		高齢者等が季節を問わず、運動ができる仕組み（B&Gや健康増進センター等の利用方法）	高齢者等が季節を問わず、運動ができる仕組み（B&Gや健康増進センター等の利用方法）	個別計画

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
頼れる地域、頼れる福祉		健幸ポイントの強化 ※100歳体操やあるくとの定着、利用者増へのさらなる取り組み	100歳体操やあるくとの定着、利用者も増えてくると思われる。経費の中で良い取り組みを。	6次総計評価
		障がい者職業生活指導員を配置	一般企業における障がい者雇用率の増加は必要な課題。障がい者職業生活指導員を配置し、現場でのサポートを進めることが必要。	個別計画
		町民からの情報の受け方の検討	興味・関心を持った方が参加・協力しやすい仕組み	個別計画
		運動のサークルづくり		全体会議
		SNS講座（みんなに分かりやすく）		全体会議
		世代間交流		全体会議
		運動器具購入（ジム）		全体会議
		交流会実施		全体会議
		斜里町民によるクラウドファンディング		全体会議
		しゃり長屋 井戸端をつくる		全体会議
		学習会の実施		全体会議
		雪かき・庭仕事 手伝い		全体会議
		話すだけ ボランティア		全体会議
		ボランティアツーリズムの推進		全体会議
みんなで食べる		子ども食堂の必要性 開設の際に支援必要	民間で子ども食堂を開設しようとする際の支援が必要	6次総計評価
		子ども食堂 ※支援の内容などを周知	取り組みたい事業者もいるはず。支援の内容などを周知しては？	町民委員ミーティング／グループワーク
		農家などによる食材提供		全体会議
		（ホテルなどの）フードロス食堂		全体会議 町民懇談会

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
みんなで集まる	みんなで集まる	老人福祉センター調理室は、備品が揃っておりこのままにしておくのはもったいない	老朽化している箇所はあるものの、利活用できる可能性を秘めた施設だと感じた。調理室は、備品が揃っておりこのままにしておくのはもったいないと感じた。	町民委員ミーティング／グループワーク
		施設に複数の機能を付加、老人福祉センターの一部を社協以外の事業者へ貸し子ども食堂やパンの販売を行うなど	施設に複数の機能を付加させることで活用の幅を広げる。（老人福祉センターの一部を社協以外の事業者へ貸し子ども食堂やパンの販売を行うなど）	町民委員ミーティング／グループワーク
		総合保健福祉センターの老朽化と環境の変化（長寿命化）	建設から24年が経過、屋根・外壁・内部改修、備品更新等を施し、長寿命化を図ることが必要。	町民委員ミーティング／グループワーク
		町内 施設の老朽化（日の出、障GHなど）	町内 施設の老朽化（日の出、障GHなど）	個別計画
		施設の老朽化に伴う集約化、建て替え、移転立地	実情をよく知る職員中心となり進めてください。	町民委員ミーティング／グループワーク
		風呂・温浴施設	温泉施設が欲しい	全体会議 町民懇談会
		障がい者の居住施設・就労の場の不足	学校卒業後、町内で就労し居住できる環境が十分確保されていない。	6次総計評価
		みんなで乗ろう	地域公共交通 利用が多いのが病院やラルズ等スーパーとのこと。需要のある場所により特化した工夫が必要	
	地域公共交通 行先を「国保病院」に限定したら使いやすい			町民委員ミーティング／グループワーク
	地域公共交通 利用が増えるためには「来る時間と帰る時間」があうこと。			町民委員ミーティング／グループワーク
	地域公共交通 もう少し小さな車両でいいのでは。			町民委員ミーティング／グループワーク
	高齢者等の移動手段 ※高齢者等が病院や商店等に行ける仕組み（又、コンパクトシティー）		近隣住人の支え合いや企業等の協力により、高齢者等が病院や商店等に行ける仕組み（又、コンパクトシティー）	町民懇談会 個別計画
	精神障がい者の自立、外出機会少なし、交通手段、買い物・通院困難		福祉が十分でない・とくに精神障がい者の自立外に出る機会が少ない・交通手段が無い 買い物・通院に困る	町民委員ミーティング／グループワーク
	斜里版ウーバー（白タク）		全体会議	
オンデマンドバス運行		全体会議		
夜のしゃりぐる（飲み屋）屋台村		全体会議		
公共交通の充実（ウトロ-斜里間）		町民懇談会 全体会議		

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
		交通系IC、電子マネーのBUS利用		全体会議
	みんなで育てる	保健・福祉・医療人材確保～賃金や勤務形態、業務内容等を改善	専門職の仕事のイメージを変えるため、賃金や勤務形態、業務内容等を改善できる制度や仕組み	6次総計評価
		スポーツ講師招聘		全体会議
		介護、保育、医療有資格者のレンタル制度創設	介護、保育、医療いずれも人がいない。人材派遣も含め、3年間や5年間等の期限を持って「知床にレンタル移籍」的な制度を創設できないか。	その他
		保育士職希望者への奨学金制度の継続や復帰できる保育士の協力	保育料の無償化や早朝延長保育など、保護者が働きやすい環境が整う一方で、保育士数が十分でない保育士に負担がかかる。 保育士職希望者への奨学金制度の継続や復帰できる保育士の協力を求めながら待機児童数が減っていくことを願う。	個別計画
		保健・保育に係る人材の確保 ※専門職のイメージを変	専門職の仕事のイメージを変えるため、賃金や勤務形態、業務内容等を改善できる制度や仕組み	個別計画
		介護人材のマンパワー不足の改善	介護初任者研修等の人材確保事業は重要	6次総計評価
		介護初任者研修等の研修の機会をつくり、地道な人材確保と育成	介護初任者研修等の研修の機会をつくり、地道な人材確保と育成をしていく必要がある。	6次総計評価

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

5-4 希望を持って子育てできるまちの実現

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
頼れる地域、頼れる子育て	しっかりサポート	待機児童解消、一時預かり、病児・病後児・体調不良児の保育、医療的ケア児の保育等、専門性の高い保育	待機児童は解消が必須。また、今後、一時預かり、病児・病後児・体調不良児の保育、医療的ケア児の保育等、ニーズに応じ専門性の高い保育が求められる。	個別計画
		幼保小連携	成長の段階に応じた保育・教育が連続性を持って提供されることは、子ども・保護者の困り感の軽減、健やかな成長にも繋がる。関係機関の連携を進め	その他
		子ども通園センターへもう少し広さがあればできることが増えるのでは	限られたスペースの中で、個別支援が丁寧に行われていた。もう少し広さがあればできることが増えると感じた。	町民委員ミーティング/グループワーク
		待機児童ゼロ、保育ママの活用、費用援助	保育ママの活用、費用援助	町民委員ミーティング/グループワーク
		外国人労働者の保育受入体制整備	外国人労働者の児童が待機児童になり、就労ができない状況がある。	町民アンケート意見
		障がい児に関する相談の場の充実	障がいの子どもの相談する場が不足している。	町民アンケート意見
		託児施設（土・日）		全体会議
頼れる地域、育む未来	みんなで応援	施設機能の向上と効率化・子育て・子育て支援の横断的な推進	児童数の推移を勘案し、老朽化施設は機能向上を図りながら統合を検討する。地域の社会資源がそれぞれの特性や専門性を有効に発揮できるよう、施設・職員の連携強化が必要。	個別計画
		多世代がぶらりと立ち寄れるような居場所づくり、小・中・高の子どもたち同士がそれぞれの成長過程で互いに関わり合える仕組み	多世代がぶらりと立ち寄れるような居場所づくり、小・中・高の子どもたち同士がそれぞれの成長過程で互いに関わり合える仕組みなど、地域が子育て・子育てに関わる取組が大切。	個別計画
		屋外遊び場の整備 ※知る人ぞ知るアスレチック	魅力ある遊び場は、やはりうらやましい。知る人ぞ知るアスレチックがもったいない。より活用しやすい場所に移せないか。	個別計画
		外での遊び場整備 ※子どもの外遊び	子どもの外遊びにおける効能を考え、発育・発達における側面をバランスよく育むことが必要	6次総計評価 町民懇談会
		子育てしやすい環境 ※出産・産後・子育て・保育等の支援ができるソフト・ハード両面	出産・産後・子育て・保育等の支援ができる、ソフト・ハードの整備	個別計画
		児童館調理室～コロナ対策が緩和したら子供たち参加型の行事で利活用	増改築後の児童館を初めて見学した。木材をふんだんに使い温かみのある清潔感あふれる作りとなっていた。調理室は、コロナ対策が緩和したら子供たち参加型の行事で利活用できそうだと感	町民委員ミーティング/グループワーク
		子育て支援センター ぼると21への移設による連携	ぼるとへの移設による関係機関の連携と利用者の利用しやすさが期待できそう。	町民委員ミーティング/グループワーク
		児童館のおさがりコーナー等、広報が少ない	児童館のおさがりコーナー等、町民に広報で掲載したら？	町民委員ミーティング/グループワーク

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
		児童の医療費助成（無償化）・学校給食費助成・完全給食の提供	他の自治体で行っている子育て家庭への経済的支援の拡充を求める。	町民アンケート 意見 町民懇談会
		（おさがりコーナー等） 町民に募集		全体会議
		オンライン最先端グローバル教室		全体会議
		子連れOKの職場		全体会議

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

6-1 地域とつながる学校教育の推進

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
学習機会の充実	斜里高校	斜里高校入学者対策	受験者の減少が課題 受験者数が増える対策を	町民委員ミーティング/グループワーク
		Tベースの利用		全体会議
		中高連携		全体会議
		大学との協力		全体会議
		学べる事を特化 町外進学者の増につなげる		全体会議
	スクールライフ	住み続けたい町にするために	教育費の無償化	高校生WS意見
		学校ICT化の推進	ICT機器を活用した授業力の向上や、個別最適な学習を推進する。オンライン授業の定着。情報モラル教育の継続的な取組。	その他
		困り感のある児童生徒への対応体制の確立	スクールソーシャルワーカー（SSW）やスクールカウンセラー（SC）の継続配置。特に、専門的なカウンセリングが有効な事案が増加しているため、SC体制の強化が必要。ことばの教室を中学生も対象に。	その他 町民懇談会
		児童生徒が安心安全な学校生活を過ごせるために	老朽化した学校施設や遊具の改修及び更新を計画的に進める。	その他
		健康的でおいしい給食を安定的に提供するために	学校給食センター施設の老朽化及び狭隘さの解消。食育の推進。調理員の確保及び民間委託の検討。	その他
		学校部活動の地域移行	児童生徒の少子化に伴う部活動の継続及び、教員の働き方改革の推進などの課題を踏まえた地域移行の検討。	その他
		運動機会の提供と学校連携の充実	様々な運動機会の提供とスポーツ体験機会のための環境整備。 放課後レク講座等の充実。	その他

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
		小中の連携		町民懇談会
	地学協働	地域学習素材の充実	斜里町の歴史や文化、自然環境の状況などを学習するための資料の充実。	その他
		地元(世界自然遺産)の価値をより理解する取り組み	社会教育施設と学校がより連携し、子供たちが世界自然遺産知床の価値や魅力に気づく取り組みが必要。	その他

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

6-2 地域を支え育てる人材の育成

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
人材育成	地域との連携	町内事業所の発信する情報を地域住民が受け取りやすくなるために	事業所が情報発信できる機会・住民の誰もが情報を受けやすくなるための機会の創出	その他
		地域学生が主役となるために	高校生によるスマホ講座の講師、小・中学生による子ども議会・町づくり懇談会等の開催による人材の育成。	その他
		地域企業が地域と繋がるために	多種・多様な職種による就業体験の実施と、子ども向け体験機会の提供。	その他
		企業協定等による人材活用	企業協定等により人材派遣と活用。	その他
	人材確保	学芸員の確保	安定的・継続的な博物館活動(収集保管、展示、調査研究、教育普及)の維持のため、博物館業務の専門職である学芸員の確保が必要。	その他
		専門職員の配置	地域を巻き込む事業を展開を行う専門職の配置。社会教育士の複数配置と情報発信メディア強化の専門職の配置。	その他
		新しい施設管理方法(施設管理・人材の確保)	体育施設の管理について、専門性のある業者への指定管理等を含めた一元管理の検討。	その他
		博物館応援団(博物館協力会など)の育成・活性化	地元のアイデンティティを共有化し後世に伝えるという博物館の使命を永続的に果たすため、博物館に来ること・博物館にいたることが楽しいと思える町民を増やす必要がある。	その他
		デジタルデバイド対策指導者の確保		全体会議

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

6-3 地域と育む社会教育活動の推進

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
施設の充実	学術的価値の向上	資料保管場所の確保、保管環境の向上	慢性的に不足している資料の保管場所の確保、大型資料の保管場所の整備、資料保管環境の改善(空調、雨漏り対策)	その他
		歴史的公文書の保存活用	歴史的価値を有する公文書が、保存年限経過後に廃棄されていることから、それらを選別・評価し、保存活用する仕組みの構築が必要。	その他
		文化財の適切な保存活用	チャンコツ岬上遺跡、旧役場庁舎、朱円竪穴住居跡群等の大規模竪穴住居跡群など、斜里町は文化財が多い。地元の財産として、これらを適切に活用しながら保存していく取り組みが必要。	その他
	施設の維持管理	施設設備の充実	総合体育館の建設 博物館施設設備の更新(天体望遠鏡等) スポーツジムの整備、プールの冬季利用	町民委員ミーティング/グループワーク 町民懇談会
		施設改修	開館25周年を迎える公民館の躯体老朽化が著しい。 計画的な大規模改修が必要。	その他
		空き店舗等を活用した移動公民館の設置	異世代間交流と、町民同士の交流を活発化。	その他
		博物館のリニューアル	知床博物館の50周年の節目(2028年)に向けて、老朽化した本館施設の改修、展示を一部更新し、博物館の魅力向上を図る。	その他
	施設の利用促進	中高生の利用の促進	中高生の施設利用を促進させ、居場所づくりにつなげる取り組みの推進	その他
		社会教育施設における来館者増加	来館者を増加させ、町民同士の交流を活発化させる	その他
		教育施設の利用を通じて社会のルールを教える仕組み	「施設内では騒がない」等、他人の迷惑となるような行為を慎むための教育及び「なぜ騒いではいけないのか」という根拠や認識を醸成していく取り組み	その他
		利用料金の見直し	物価高騰を受け、利用料の見直しと適正化を図る。	その他 町民懇談会
		スポーツ交流	世代共通で楽しむスポーツ交流	町民懇談会

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

7-1	地域が輝くつながりのあるまちの実現
-----	-------------------

大タイトル	小タイトル	課題の素材			
		素材名	概要	どこから	
情報の共有	情報発信の充実	町の政策情報周知	自治基本条例の存在が広く知られていない。総合計画策定に携わって知った。	個別計画	
		情報公開の迅速化	議会広報2箇月後に発行しているが情報公開の迅速が求められている。ネット中継も実施しており現状踏まえた検討必要。	6次総計評価	
		世代を問わず必要な情報が得られやすい仕組み	情報提供体制についてHPのリニューアル、広報電子版の配信、SNS、LINE、ほっとメールの活用等進めており今後も見直ししながら進めていく必要がある。LINEの情報発信は見やすい。	6次総計評価 第4回全体会	
		行政情報の周知	細かな情報が足りない。病院の医師、看護師などのスタッフがとても良いので町民にPRしてほしい。	その他 町民委員ミーティング/グループワーク	
		情報媒体の検討	電子媒体で見る世代に移行するなかで、紙媒体の広報誌等をいつまで発行するか。10年は並行しなければならない。	町民委員ミーティング/グループワーク	
	広聴の充実	町民の意見を聴く機会	住民の生の声が届く仕組みが必要。	個別計画	
		町民からの相談支援体制	窓口相談だけでなくWeb相談ができればいい。Web相談は自動可動でもいい。	町民委員ミーティング/グループワーク 全体会議	
	町民主体のまちづくり	町民参加機会の拡充	ボランティア活動の展開	有償ボランティアを展開し、若年者の募集を進め参加者の対象拡大をしてはどうか。以前は中学生の部活で除雪ボランティアをしていた。再開できないか。高校もボランティア部があったが、今は生徒会が中心となって活動をしている。	全体会議 個別計画
			子どものまちづくりへの参加	子どもたちがもっと「まちづくり」に係わる活動があってもよいのではないか。他の町では子ども議会などの取り組みもされている。今、計画の策定においても子どもたちを加えるなどしてもよいのではない	個別計画
			参加者の固定化	まちづくり懇談会、移動町長室などの開催。参加人数や参加者の固定化もあり開催方法など見直し実施しているが、一定の実績あるものの町民からの活用少ない状況。	6次総計評価
まちづくりへ町民参加が少ない			いろいろな場面で参加する町民が少なく感じる。	その他	
幅広い世代のまちづくりへの参画			子どもから、大人、高齢者等様々な町民が関われる機会が必要。	第4回全体会	
地域コミュニティの支援		地域コミュニティの推進	自治会加入率の低下、コミュニティ参加の低下。	6次総計評価	
		コミュニティ活動に参加しやすい環境づくり	情報発信の強化や地域活動に参加するためのきっかけづくりが必要。	6次総計評価	
多様性の高いまちづくり		男女共同参画	多様性の高い社会へ対応していくため、男女の育児参加、LGBTへの対応、さらにパートナー制への検討を進めていくことが必要。	全体会議	
普及啓発の推進		まちづくりへの参画意識の向上	男女ともにまちづくりに幅広く参加できる取り組みが必要。アンケート結果から町政運営への関わりは積極的・主体的参加する方の割合(H30:5.8%、R4:3.3%)は低い参加する機会を設けていくことは	6次総計評価	

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
		町民憲章推進・普及	遊覧船の事故等を教訓に、あらためて普及していくことが必要。みんなで何々をしよう。	全体会議
多様な交流の推進	交流機会の充実	民間主体の交流の推進	交流を進める会など、民間を主体とした事務局体制（弘前市など）を確立し、団体の自主性やさらなる民間交流を広げていくことが必要。	6次総計評価
		幅広い交流機会の取り組み	文化交流、研修機会なども交えた広い取り組みとして継続していくことが必要。	6次総計評価
		交流の機会・場所など支援	世代間交流が少ない。お祭りが少ない。交流、コミュニケーションの場が少ない。人間関係が薄れてきている。世代共通で楽しめるスポーツに取り組むなど	その他 町民懇談会
		斜里とウトロの交流	二つのまちがあるよう	町民懇談会
	移住者対策の推進	移住・定住対策	移住対策と合わせ、高校の留学生の寮がセットであると良い。半分はテレワーク企業の利用、半分は留学生の利用など。	個別計画
		移住者対策	移住者の住める住宅、就農、就職支援、移住情報不足、支援などの対策が必要。	その他
		地域交通の充実	車や徒歩以外の地域内の移動手段の確保。しゃりぐるが15時までしかないのが残念。バスのデマンド化が必要。病院など行き先を特化したルート設定があればいい。	第4回全体会 町民委員ミーティング／グループワーク

第7次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」リスト

7-2 社会変化に対応できる健康なまちの実現

大タイトル	小タイトル	課題の素材			
		素材名	概要	どこから	
多様化できる行政運営	人材育成の充実	職員の研修機会	役場職員は各分野の専門性の高い業務を扱うので、研修を充実させることが必要。	個別計画	
		人材の確保	専門職、事務職含め人材確保に苦慮している。行政サービスを持続していくためには人材確保が必要不可欠のため、様々な制度を活用した人材確保を進めていくことが必要。	その他	
		突発的かつ長期的に及ぶ業務が発生した場合の対応	ワクチン接種など臨時的に発生した業務の所属課においては勤務が増加するなど、個々の業務量、勤務時間に差が生じている。働き方を揃えることは難しいが働き方改革を進めていくことは必要。	6次総計評価	
		奨学金の拡充	多様な人材を確保のため奨学金を活用した人材確保が必要。町で働く場合の奨学金免除の拡充など。	全体会議	
	業務効率化の向上	専門職員の充実	保育士など待機児童をなくす施策が必要。	個別計画	
		役場など公共施設の利用	職員も来庁者も使いやすい環境の整備。	個別計画	
		維持管理経費の削減	公共施設にける管理の機械警備等の導入による管理コストの削減。	個別計画	
	デジタル化の推進	公文書の電子決済化によるペーパーレス化の検討	すでにペーパーレス化を進められているが、さらなる資源の節約や経費の削減、意思決定の迅速化、適切なデータ管理・運用など、業務の効率化に向けた改善を図っていくことが必要。	6次総計評価	
		公金収納非接触化および電子決済端末の導入に伴う会計処理	金融機関の公金窓口収入手数料の増なども想定されていることから、より経費のかからない会計処理の検討及び、納付方法の拡充により住民サービスの向上を検討していくことが必要。	6次総計評価	
		窓口サービスのデジタル化による住民の利便性向上	住民の利便性向上に向けた取り組みとして、自治体DXを進めていくことが必要。	6次総計評価	
	持続的な財政基盤の確立	施設管理の効率化	公共施設の利活用と不要な財産処分	公共施設の老朽化が進み更新が必要となっている。公共施設の最適化を図り、現状把握、中長期的な施設整備の優先順位の検討など、効率的な行政運営に努めていくことが必要。	6次総計評価 町民懇談会
			公共施設管理の民間活用も合わせた包括管理手法の検討	施設の所管課ごとに事務を実施しているが、業務の効率化を進めていくため、施設ごとに行っている契約業務や、点検・メンテナンス水準の向上・均一化など、包括的な管理により効率的な管理を検討していくことが必要。	6次総計評価
		自主財源の確保	自主財源確保の可能性の調査研究	景気動向や一次産業の不振、地方交付税などの不安定要素があることから自主財源の確保を検討していくことが必要。	6次総計評価
ふるさと納税			ふるさと納税の返礼品・ふるさと納税の拡充。最初から財源として見込むことはできないところがある。	町民委員ミーティング／グループワーク 町民懇談会	
町有財産の有効活用			町有地の有効利用と有料化。	町民懇談会 その他	

大タイトル	小タイトル	課題の素材		
		素材名	概要	どこから
		収納方法の拡充	公共料金の支払い方法が少ない。	その他
	財政健全化	連結財務書類の作成	一般会計、特別会計、企業会計に加え、一部事務組合も含め連結財務書類を作成し公会計の財政健全化を図ることが必要。	6次総計評価
		企業会計（病院）の財政状況	病院の財政状況。次の10年に向けた計画でも大きな要素となる。	町民委員ミーティング／グループワーク
		財政運営の健全化を常に図る	アクションプランを策定し、歳入・歳出の改革に取り組んできていることから、継続して財政健全化に関する指標や基金残高など財政健全化の取り組みを進めていくことが必要。	その他
		計画的な財政運営の実施	毎年、町の課題や国の情勢を踏まえ、中期財政収支試算、それを基にした予算編成作業を行っていることから継続して計画的な財政運営を実施していくことが必要。	その他